

# 琉球大学学術リポジトリ

## 泡瀬干潟の埋め立てに関する沖縄市民の意識調査

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 琉球大学法文学部 公開日: 2008-01-08 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 鈴木, 規之, Suzuki, Noriyuki メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/2850">http://hdl.handle.net/20.500.12000/2850</a>

## 泡瀬干潟の埋め立てに関する沖縄市民の意識調査

### Survey on the Social Consciousness of Okinawa - City Residents about Awase Tideland Reclamation Issue

鈴木規之（琉球大学法文学部）

Noriyuki Suzuki (University of the Ryukyus)

#### はじめに

沖縄は、米軍基地によって土地の11%を占有され、発展の大きな妨げになっていると言われている。県民所得や失業率などの指標を見ても、日本本土と大きな格差のあることから、1972年の日本への復帰後一貫して公共事業主導による開発がなされてきた。このような公共事業の結果、赤土流出によるサンゴへの影響に見られるような環境破壊をひき起こし、環境派の研究者や市民から批判が続出した。<sup>1)</sup> しかし、21世紀を迎えても、公共事業依存型の開発は依然として続いている。その公共事業の1つが埋め立てによる開発計画である。現在その計画が問題となっているのは、沖縄市の泡瀬干潟、佐敷町の佐敷干潟、大宜味村の塩屋湾があり、それ以外にも計画はモグラ叩きゲームのように出没する。本稿では、その中で現在最も注目を集めている泡瀬干潟について、沖縄市民の埋め立てに対する意識を調査することにより、開発・発展のあり方を市民レベルで問い直す試みである。<sup>2)</sup>

- 1) たとえば、日本環境会議沖縄大会実行委員会編『沖縄の環境と平和—生命の声—』沖縄大学地域研究所、1997年、宇井純「沖縄における環境と開発」佐久川政一、鎌田定夫編『冷戦後の日本と沖縄：その自立・共生・平和の展望』谷沢書房、1997年などがある。
- 2) 沖縄における市民社会の現状分析については、鈴木規之「市民社会と沖縄」『年報筑波社会学』第10号、筑波社会学会、1998年を参照せよ。

## 1. 東部海浜開発計画と泡瀬干潟

1987年、沖縄本島西海岸に偏っている観光開発から取り残された沖縄市域の状況や、基地依存型経済からの脱却、本島中部の活性化などを目的として、沖縄市は東部海浜地区埋立構想を策定した。1989年には東部海浜開発計画として発表し、泡瀬干潟187ヘクタールを埋め立てて中部圏全体の発展の拠点をめざす「マリンシティ泡瀬」の建設を打ち出した。この計画のなかには、リゾートホテル、コンドミニウム、マリーナ、人工ビーチなどのリゾート用地及びスポーツレク施設用地と住宅用地が含まれている。

沖縄本島東海岸、中城湾の北側に位置する泡瀬干潟は、総面積290ヘクタール、南西諸島の中でも最大規模の干潟である。底質は、泥、砂、サンゴ礫と変化に富んでおり、また、9種類の海藻が確認された良質の藻場が広がる。(環境庁のレッドリスト絶滅危惧Ⅰ類に指定されている藻類のクビレミドロも発見されている。) 環境アセスメントの追加調査によると、貝、カニなどの底生生物はハボウキガイなど210種類以上が確認され、その中の生物26種は絶滅のおそれに瀕している。また、「沖縄野鳥の会」の調査では鳥類も125種類が確認され、沖縄県内でも最大の渡り鳥の飛来地となっている。<sup>3)</sup>

このような独特の生態系を作っている泡瀬干潟で、現在30人ほどの漁民が網漁やモズク漁を営み、また潮干狩りや魚釣りなどを楽しむ近隣住民の憩いの場としても親しまれている。

この埋め立て計画は、いわばバブル期の計画の遺物であり、1997年までは沖縄市主導による計画のままであった。ところが、1998年に沖縄総合事務局より、泡瀬地区に隣接する特例自由貿易地域に大型船を入港可能にするための航路浚渫とともなう土砂の処分場として泡瀬地区の埋め立て事業への参画の申し入れがあり、急速に具体化していった。2000年12月には、運輸省は東

---

3) 国際湿地シンポジウム沖縄実行委員会『国際湿地シンポジウム in 沖縄』資料、2000年。

部海浜開発計画の埋め立て申請を承認し、2001年8月には着工の運びとなった。

これに危機感をもった市民たちは、泡瀬干潟で遊ぶ会や琉球湿地研究グループなどを結成し、ジュゴン・ネットワークなど他の自然保護団体（NGO）との連携をとりながら、沖縄における泡瀬干潟の重要性を主張し、埋め立てについての環境アセスメントの不備を批判するという手法を用いて計画の見直しを迫っていった。そして、2001年1月に泡瀬干潟の計画の見直しを求める市民グループは、「泡瀬干潟を守る連絡会」を結成し、シンポジウムの開催や、泡瀬干潟で様々な催しを行うなど運動をさらに活性化させていったのである。

このような環境に関する問題は、1960-70年代の公害問題などからさまざまな教訓を得て1980年代に日本においても産業社会のあり方を環境の視点で問い直す環境社会学を育むなど社会学の中でも重要な課題となりつつある。この環境社会学の最大の成果は、人間の手の加わらない自然を一番のぞましいと考える自然環境主義と、近代技術の適用が結局は環境問題を解決すると判断する近代技術主義の二項対立をこえて、当該社会に居住する人々の生活の立場から環境問題を考える生活環境主義の視点を新たに提示したことである。<sup>4)</sup>

この視点では、住民の主体性が重要なものとなってくる。生活者として泡瀬干潟に関わる人々には、デベロッパーや建設業者など明らかな受益者があり、漁場を失う漁民や憩いの場を失う近隣住民のような受苦者が存在し、受益圏・受苦圏ともいえる層を形成する。この概念を用いて社会運動の研究を行ってきた梶田孝道によれば、大規模開発と社会運動の対立は「拡大した受益圏」の欲求と「局地化した受苦圏」の欲求とされている。<sup>5)</sup> 泡瀬干潟をめ

4) 鳥越皓之『環境社会学の理論と実践—生活環境主義の立場から—』有斐閣、1997年、9-12、18-20ページ。

5) 梶田孝道『テクノクラシーと社会変動』東京大学出版会、1988年、24ページ。

ぐってこの議論を援用すると、雇用の創出や経済の活性化を望む受益圏の欲求が大規模開発をすすめ、泡瀬干潟近隣住民の生活保存、環境保存の欲求と衝突しあっているのである。そして梶田は、「受苦圏が凝集し組織化される場合には、反対運動の形で被害者たちの団結が実現され、被害者たちの利害表明が不十分ながら可能となる」としている。<sup>6)</sup>

しかしながら、環境をめぐるイシューでは、拡大した受益圏と局地化した受苦圏の対立の中のみ運動がおこるとはいえない。泡瀬干潟を守る連絡会を組織するグループや NGO は、沖縄市民の枠をこえてネットワーク化されている。したがって持続可能な開発・発展 (Sustainable Development) の視点でみると、泡瀬干潟を失うことは、希少生物の絶滅や環境破壊をもたらすため、受苦圏は沖縄市民や近隣住民にとどまらず、環境問題に関心のある他府県の人々、外国の人々にまで及ぶのである。<sup>7)</sup>

さらに、受益圏と受苦圏の視点では、行政 (沖縄市) の存在が説明できない。建設業者のような局地化した受益者と行政との相互作用は明らかである。したがって泡瀬干潟をめぐる社会運動は、局地化した受益圏が行政にプロジェクトの促進をはたらきかけ、拡大した受苦圏が行政に見直しの運動を行ってきたのである。

とはいえ、東部海浜開発計画では沖縄市のプロジェクトとして進められてきたため、主体である生活者は沖縄市民である。異議申し立ての主体は計画に疑問をもつ沖縄市民となり、様々なネットワークが彼らを支えていくという構図になるのである。本稿では、以上のような認識のもと、主体となる沖縄市民の意識調査を設計した。

---

6) 梶田前掲書、20ページ。

7) 持続可能な開発・発展については現在さまざまな解釈があるが、本稿では初期の問題意識を提示している以下の著作と視点を共有する。

Redclift M., *Sustainable Development*, Routledge a Div. of Routledge, Chapman & Hall Ltd., 1987. (中村尚司・古沢広祐監訳、『永続的發展－環境と開発の共生－』学陽書房、1992年。)

## 2. 沖縄市民の意識調査の設計

このような対立図式のもとで、泡瀬干潟の問題をめぐって賛否両論が新聞、テレビなどで何回となく報道された。本研究のような実証研究を中心的な方法論として採用する社会学では、主体となる市民がこの計画についてどのような意識をもっているのかを客観的な調査方法で明らかにすることが重要な役割となってくる。そこで、本研究では、このような泡瀬干潟の埋め立て問題について、政策提言につなげることを目的として、沖縄市民の意識調査を行った。<sup>8)</sup>

この調査は、調査地域を沖縄市に設定し、沖縄市に居住する満20歳以上の男女を対象としたもので、サンプリングについては選挙人名簿による層化無作為抽出法を用いた。調査方法は郵送法を採用し、2001年3月29日から同年4月14日までの期間に実施した。配布した調査票は2912票、このうち有効回収標本として回収できたのは609票である（回収率20.9%）。郵送法による方法としては回収率は比較的高く、この問題への沖縄市民の関心の高さを示している。

今回行った、泡瀬干潟の埋め立てに関する沖縄市民の意識調査は、沖縄市の36の全ての自治会を調査対象としている。集計においては、旧コザ市、旧美里村上部落（美里、東、宮里、吉原、松本、明道、知花、登川、池原）、旧美里村下部落（古謝、高原、大里、東桃原、比屋根、与儀、泡瀬、泡瀬第一、泡瀬第二、泡瀬第三）の3つの地域に区分した。なお、旧美里村下部落は、海側地域であり干潟との関わりが強いと考えられる地域である。

この地域では、回収率に有意な差はなく、沖縄市民全体の意識として分析する妥当性があることをここで強調しておきたい。

---

8) 既に2000年12月に泡瀬干潟埋め立て問題について考える学生の会の桑江直哉らによって『泡瀬干潟の埋め立てに関するアンケート報告書』が記者発表されている。しかし、桑江らの調査は、いわゆるスノーボール・サンプリングであるために信頼性に乏しいことから再調査の必要性が求められていた。

以下では、同調査で得られたデータを単純集計・クロス集計の2通りの方法で処理し、結果の分析および分析からの知見を提示したい。

### 3. 単純集計の結果

単純集計の結果は、以下のようになった。まず、泡瀬地区に埋め立ての計画があることを1年以上前から知っていたのは、調査した市民のうちの52.1%、最近（1年以内）に知った市民は42.0%、知らなかった市民は6.9%となっている。埋め立ての場所については、62.4%の者が知っており、37.6%が知らないと回答した。埋め立て後、そこに何が作られるか知っている者は36.1%、知らない者は63.9%である。泡瀬干潟が、沖縄で渡り鳥が最も多く飛来する場所であることは63.1%の市民が知っており、知らない市民は36.9%となっている。環境アセスメントについて、平成12年以前に住民への説明会があったのを知っていると回答したのは12.9%であり、87.1%の者が知らないと答えている。埋め立てにともなう約300億円の沖縄市の負担については、17.3%の市民は知っていたが、82.7%が知らなかった。埋め立ての事業目的の一つが、特別自由貿易地域の港の航路の土砂を掘り出し、それを捨てることの確保であることを知っている市民は16.2%であり、知らない市民は83.8%であった。泡瀬干潟の埋め立てを必要だと思う市民は9.9%、思わない者が68.0%、わからないと回答した者は22.1%となっている。

単純集計の結果からは、埋め立てについての市民の知識の特徴と、埋め立ての必要性に関する意識の変化を読み取ることができた。

埋め立てについては、計画の有無や場所など簡単なことは市民に浸透しているが、詳しいことは、よく知られていない。また、埋め立ての必要性に関する意識では、2000年12月の泡瀬干潟埋め立て問題について考える学生の会による『泡瀬干潟の埋め立てに関するアンケート報告書』と比べて、埋め立てが必要という割合が減少し、逆に「思わない」が20%以上増加している。

また、「分からない」が減少している。

## 4.クロス集計の結果

### (1) 地域区分と各設問とのクロス集計（クロス集計1）

地域区分と各設問のクロス集計からは、泡瀬干潟と関係の深い旧美里村下部落において、計画の有無や場所、埋め立て地の利用法など、埋め立ての簡単な概要についての知識が、他の地区に比べて明らかに多く認識されていることが分かった。ただし、詳しい内容の知識については他地区と有意な差はない。埋め立ての必要性についても有意な差はない。

### (2) 性別と各設問とのクロス集計（クロス集計2）

性別と各設問の関係については、渡鳥の渡来場所についての設問以外は男性が女性を有意に上回る知識を有し、また埋め立ての必要性の認識についても男性が女性を上回っている。産業社会である現在のジェンダーロールを反映しているといえよう。

### (3) 年齢と各設問とのクロス集計（クロス集計3）

年齢と各設問の関係は、簡単な知識から比較的詳しい事項まで、40代以上の世代が若い世代より知識を有している。埋め立てについても、40代以上の世代が若い世代より必要性を感じている人が多い。

### (4) 職業と各設問とのクロス集計（クロス集計4）

職業と各設問の関係であるが、建設業の含まれる第2次産業従業者が沖縄市の負担の認識を除き認識が高い。埋め立ての必要性についても他の産業従事者に比べて高い必要性を感じているという結果となった。

### (5) 各設問と埋立ての必要性とのクロス集計（クロス集計5）

各設問、すなわち知識項目と必要性の認識の関係は、渡鳥の渡来場所についての設問を除いて知識を有している人ほど必要性を感じているという結果となった。



しかし、これは沖縄市の努力による結果ではなく、クロス集計2、4に示したように埋立てからの利益を得られる人々（ジェンダー、職業によって規定される）が関心を示し（知識を有し）ていることによる結果であると考えらるべきである。

## 5. 調査結果全体を通して

沖縄市民は、泡瀬干潟の埋め立て計画の有無や場所の大まかな情報は有しているが、具体的な計画の内容や、沖縄市の負担、浚渫土砂の捨て場であることなどのデメリット部分の情報は十分に得ているとはいえない。説明会があったことを知っている人も少ない。そして、埋め立ての必要性を感じている人はわずかに10%であり、大多数の市民はその必要性を感じていない。

従って、この調査のデータから、このままの状態ですぐの着工について強行することは、住民の総意という視点からは大いに問題があり、さらに様々なレベルでの説明会の開催や、住民投票などで住民の意思をさらに確認することが必要であると思われる。<sup>9)</sup>

## おわりに

本調査の実施、記者クラブでの報告後、泡瀬干潟を守る連絡会は「国、県、沖縄市は調査結果が示した問題点を真摯に受けとめ、市民の意見の尊重を」とコメントした。そして沖縄市長に意識調査を踏まえて民意を尊重するように申し入れた。その一方で、市民投票条例を求めた署名活動を展開し、署名数は有権者のおよそ10分の1となる9415人に達して住民投票を求めて沖縄市長に本請求を行った。

---

9) 本研究のデータ部分については、2001年4月24日に県庁記者クラブで報告し、4月24日は琉球新報夕刊、沖縄タイムスタ刊、4月25日沖縄タイムス朝刊に掲載された。また4月24日沖縄ローカルのニュース番組（全4局）でも報道された。

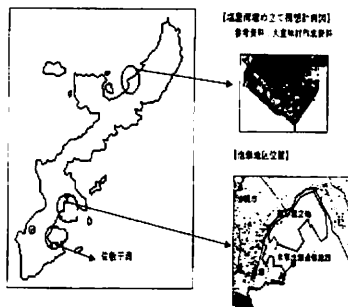
このような状況の中で、島袋純は政治学の立場から「住民投票は議会などの間接民主制を補完するというのが法学者の通説だが、地方自治法の理念からすると直接の住民意思が最高であって、関係は逆だ」と市民投票条例と高く評価している。<sup>10)</sup> 市民の主体性によって開発・発展のあり方を問うことは、もはや無視できない潮流となり、全国各地での住民投票の要求や実施にみられるように市民運動もそれだけの実力をつけてきたのである。

2001年6月の時点では、沖縄市長は市議会の意志を尊重する姿勢を打ち出しているが、市議会では東部海浜開発計画の推進派が多数を占めているために、条例案は否決される可能性が高く、市長は条例制定の必要はないと述べている。

しかし、調査結果に示されているように、プロジェクトに対する行政側の説明は不十分であり、また泡瀬干潟を守る連絡会も計画のずさんさや環境アセスメントの不十分さ、代替としてつくられる人工干潟の問題点を主張している。<sup>11)</sup>

もはや代表制民主主義は破綻をきたしており、市民のイニシアチブで行政をすすめる市民社会の萌芽がはっきりと見てとれるのである。その意味からも、泡瀬干潟の埋め立てをめぐる問題については、今後も注視が必要である。<sup>12)</sup>

なお、本調査の実施、データの分析については沖縄環境ネットワーク（世話人・宇井純沖縄大学教授）、沖縄国際大学大学院生桑江直哉君および沖縄大学学生山本菊代さんらの協力を得た。ここに感謝の意を表したい。



10) 「市民の声はどこに 泡瀬干潟埋め立ての是非 下」琉球2001年6月6日

11) 泡瀬干潟を守る連絡会「泡瀬干潟は沖縄の宝」パンフレット2001年。

12) 脱稿後、沖縄市議会は2001年7月16日に市民投票条例案を否決した。しかし、沖縄総合事務局は方針を転換し、実質的に8月の着工は見送られて先が見えない状況となり、推進派と反対派の対立は今後も続いていくと思われる。

泡瀬干潟の埋め立て問題についてのアンケート及び、単純集計結果

<属 性>

A. あなたの住んでいるところの自治会名を記入してください。

1. 旧コザ市	268人 (50.3%)
2. 旧美里村上部落	121人 (22.7%)
3. 旧美里村下部落	144人 (27.0%)

B. 性別を選んで○をして下さい。

1. 男性	274人 (47.1%)
2. 女性	308人 (52.9%)

C. 年齢を次から選んで○をしてください。

1. 20代	91人 (15.4%)
2. 30代	112人 (19.0%)
3. 40代	120人 (20.3%)
4. 50代	93人 (15.7%)
5. 60代以上	175人 (29.6%)

D. あなたの主な職業を次から選んでください。

1. 第1次産業	17人 (2.9%)
2. 第2次産業	68人 (11.8%)
3. 第3次産業	233人 (40.3%)
4. 無職	117人 (20.2%)
5. 主婦	129人 (22.3%)
6. 学生	14人 (2.4%)

## 泡瀬干潟の埋め立てに関する沖縄市民の意識調査

### <調査項目>

1. 泡瀬地区に埋め立ての計画があることを知っていますか。

1. 1年以上前	317人 (52.1%)
2. 最近	249人 (41.0%)
3. 知らなかった	42人 (6.9%)
  
2. どの場所が埋め立てられるか知っていますか。

1. 知っている	377人 (62.4%)
2. 知らない	227人 (37.6%)
  
3. 埋め立て後、そこに何が作られるのか、具体的に知っていますか。

1. 知っている	218人 (36.1%)
2. 知らない	386人 (63.9%)
  
4. 泡瀬干潟(ひがた)が、沖縄で渡り鳥が最も多く飛来する場所、であることを知っていますか。

1. 知っている	383人 (63.1%)
2. 知らない	224人 (36.9%)
  
5. 環境アセスメント(埋立が環境にどのような影響があるかの調査)について、平成12年以前に住民への説明会があったことを知っていますか。

1. 知っている	78人 (12.9%)
2. 知らない	529人 (87.1%)

6. 埋め立てにともない、沖縄市が約300億円(土地買収184億、基盤整備120億・・・2000年12月16日付琉球新報より)負担することを知っていますか。

1. 知っている	105人 (17.3%)
2. 知らない	502人 (82.7%)

7. 埋め立ての事業目的の一つが、特別自由貿易地域(具志川市側、新港地区)の港の航路の土砂を掘りだし、それを捨てる場所を確保するためであることを知っていますか。

1. 知っている	98人 (16.2%)
2. 知らない	507人 (83.8%)

8. 泡瀬干潟の埋め立てが必要だと思いますか。

1. 思う	60人 (9.9%)
2. 思わない	412人 (68.0%)
3. 分からない(どちらともいえない)	134人 (22.1%)

泡瀬干潟の埋め立てに関する沖縄市民の意識調査

クロス集計 1 (地域区分×各設問)

集計(1)

上段：度数 下段：%		1. 計画知っているか?			
		合計	1年以上前	最近	知らなかった
合計		533 100.0	281 52.7	222 41.7	30 5.6
地域区分	旧コザ市	268 100.0	131 48.9	115 42.9	22 8.2
	旧美里村上部落	121 100.0	62 51.2	55 45.5	4 3.3
	旧美里村下部落	144 100.0	88 61.1	52 36.1	4 2.8

集計(2)

上段：度数 下段：%		2 場所知っているか		
		合計	知っている	知らない
合計		530 100.0	335 63.2	195 36.8
地域区分	旧コザ市	267 100.0	152 56.9	115 43.1
	旧美里村上部落	119 100.0	69 58.0	50 42.0
	旧美里村下部落	144 100.0	114 79.2	30 20.8

集計(3)

上段：度数 下段：%		3. 何作るか知っているか		
		合計	知っている	知らない
合計		530 100.0	188 35.5	342 64.5
地域区分	旧コザ市	268 100.0	83 31.0	185 69.0
	旧美里村上部落	118 100.0	36 30.5	82 69.5
	旧美里村下部落	144 100.0	69 47.9	75 52.1

集計(4)

上段：度数 下段：%		4. 渡島飛来沖縄最大場所		
		合計	知っている	知らない
合計		532 100.0	340 63.9	192 36.1
地域区分	旧コザ市	267 100.0	172 64.4	95 35.6
	旧美里村上部落	121 100.0	75 62.0	46 38.0
	旧美里村下部落	144 100.0	93 64.6	51 35.4

集計(5)

上段：度数 下段：%		5. 説明会あった知っているか		
		合計	知っている	知らない
合計		533 100.0	65 12.2	468 87.8
地域区分	旧コザ市	268 100.0	35 13.1	233 86.9
	旧美里村上部落	121 100.0	12 9.9	109 90.1
	旧美里村下部落	144 100.0	18 12.5	126 87.5

集計(6)

上段：度数 下段：%		6. 沖縄市負担知っているか		
		合計	知っている	知らない
合計		532 100.0	94 17.7	438 82.3
地域区分	旧コザ市	268 100.0	45 16.8	223 83.2
	旧美里村上部落	121 100.0	23 19.0	98 81.0
	旧美里村下部落	143 100.0	26 18.2	117 81.8

集計(7)

上段：度数 下段：%		7. 土砂捨て増知っているか		
		合計	知っている	知らない
合計		530 100.0	82 15.3	448 84.7
地域区分	旧コザ市	268 100.0	38 14.2	230 85.8
	旧美里村上部落	121 100.0	22 18.2	99 81.8
	旧美里村下部落	143 100.0	21 14.7	122 85.3

集計(8)

上段：度数 下段：%		8. 埋め立て必要だと思うか			
		合計	思う	思わない	分からない
合計		532 100.0	48 9.0	372 69.9	112 21.1
地域区分	旧コザ市	268 100.0	26 9.7	183 68.3	59 22.0
	旧美里村上部落	120 100.0	6 5.0	88 74.2	25 20.8
	旧美里村下部落	144 100.0	18 11.1	100 69.4	26 19.4

クロス集計2 (性別×各設問)

集計(9)

上段：度数 下段：%		1. 計画知っているか？			
		合計	1年以上前	最近	知らなかった
合計		582	300	242	40
		100.0	51.5	41.6	6.9
性別	男	274	162	101	11
	女	308	138	141	29
		100.0	44.8	45.8	9.4

集計(10)

上段：度数 下段：%		2. 場所知っているか		
		合計	知っている	知らない
合計		578	359	219
		100.0	62.1	37.9
性別	男	274	181	93
	女	304	178	126
		100.0	58.6	41.4

集計(11)

上段：度数 下段：%		3. 何作るか知っているか		
		合計	知っている	知らない
合計		578	207	371
		100.0	35.8	64.2
性別	男	272	112	160
	女	306	95	211
		100.0	31.0	69.0

集計(12)

上段：度数 下段：%		4. 渡島飛来沖縄最大場所		
		合計	知っている	知らない
合計		581	365	216
		100.0	62.8	37.2
性別	男	274	173	101
	女	307	192	115
		100.0	62.5	37.5

集計(13)

上段：度数 下段：%		5. 説明会あった知っているか		
		合計	知っている	知らない
合計		581	70	511
		100.0	12.0	88.0
性別	男	273	42	231
	女	308	28	280
		100.0	9.1	90.9

集計(14)

上段：度数 下段：%		6. 沖縄市負担知っているか		
		合計	知っている	知らない
合計		581	101	480
		100.0	17.4	82.6
性別	男	273	54	219
	女	308	47	261
		100.0	15.3	84.7

集計(15)

上段：度数 下段：%		7. 土砂捨て場知っているか		
		合計	知っている	知らない
合計		579	91	488
		100.0	15.7	84.3
性別	男	271	52	219
	女	308	39	269
		100.0	12.7	87.3

集計(16)

上段：度数 下段：%		8. 埋め立て必要だと思うか			
		合計	思う	思わない	分からない
合計		580	55	397	128
		100.0	9.5	68.4	22.1
性別	男	272	36	177	59
	女	308	19	220	69
		100.0	6.2	71.4	22.4

泡瀬干潟の埋め立てに関する沖縄市民の意識調査

クロス集計 3 (年齢×各設問)

集計 (17)

上段：度数 下段：%		1 計画知っているか			
		合計	1年以上前	最近	知らなかった
合計		591	308	244	39
		100.0	52.1	41.3	6.6
年齢	20代	91	30	49	13
		100.0	33.0	52.7	14.3
	30代	112	53	48	11
		100.0	47.3	42.9	9.8
	40代	120	65	51	4
		100.0	54.2	42.5	3.3
50代	93	56	35	2	
	100.0	60.2	37.6	2.2	
60代以上	175	104	62	9	
	100.0	59.4	35.4	5.1	

集計 (18)

上段：度数 下段：%		2. 場所知っているか		
		合計	知っている	知らない
合計		587	368	219
		100.0	62.7	37.3
年齢	20代	91	46	45
		100.0	50.5	49.5
	30代	112	70	42
		100.0	62.5	37.5
	40代	118	77	41
		100.0	65.3	34.7
50代	92	69	23	
	100.0	75.0	25.0	
60代以上	174	106	68	
	100.0	60.9	39.1	

集計 (19)

上段：度数 下段：%		3. 何作るか知っているか		
		合計	知っている	知らない
合計		587	210	377
		100.0	35.8	64.2
年齢	20代	90	18	72
		100.0	21.1	78.9
	30代	112	35	77
		100.0	31.3	68.8
	40代	120	43	77
		100.0	35.8	64.2
50代	93	58	35	
	100.0	61.9	38.1	
60代以上	172	74	98	
	100.0	43.0	57.0	

集計 (20)

上段：度数 下段：%		4. 遊高飛架沖縄最大場所		
		合計	知っている	知らない
合計		590	375	215
		100.0	63.6	36.4
年齢	20代	91	58	33
		100.0	63.7	36.3
	30代	112	68	44
		100.0	60.7	39.3
	40代	120	72	48
		100.0	60.0	40.0
50代	93	69	24	
	100.0	74.2	25.8	
60代以上	174	112	62	
	100.0	64.4	35.6	

集計 (21)

上段：度数 下段：%		5. 説明会あった知っているか		
		合計	知っている	知らない
合計		590	73	517
		100.0	12.4	87.6
年齢	20代	91	4	87
		100.0	4.4	95.6
	30代	112	8	104
		100.0	7.1	92.9
	40代	119	10	109
		100.0	8.4	91.6
50代	93	15	78	
	100.0	16.1	83.9	
60代以上	175	38	137	
	100.0	21.7	78.3	

集計 (22)

上段：度数 下段：%		6. 沖縄市負担知っている		
		合計	知っている	知らない
合計		590	101	489
		100.0	17.1	82.9
年齢	20代	91	10	81
		100.0	11.0	89.0
	30代	112	11	101
		100.0	9.8	90.2
	40代	120	20	100
		100.0	16.7	83.3
50代	93	22	71	
	100.0	23.7	76.3	
60代以上	174	38	136	
	100.0	21.8	78.2	

集計 (23)

上段：度数 下段：%		7. 土砂捨て場知っているか		
		合計	知っている	知らない
合計		588	93	495
		100.0	15.8	84.2
年齢	20代	91	7	84
		100.0	7.7	92.3
	30代	112	11	101
		100.0	9.8	90.2
	40代	119	15	104
		100.0	12.6	87.4
50代	93	20	73	
	100.0	21.5	78.5	
60代以上	173	40	133	
	100.0	23.1	76.9	

集計 (24)

上段：度数 下段：%		8. 埋め立て必要だと思うか			
		合計	思う	思わない	分からない
合計		589	54	405	130
		100.0	9.2	68.8	22.1
年齢	20代	91	6	82	23
		100.0	6.6	89.1	23.3
	30代	111	3	95	23
		100.0	2.7	76.6	20.7
	40代	120	12	88	20
		100.0	10.0	73.3	16.7
50代	92	9	80	15	
	100.0	9.8	73.9	16.3	
60代以上	175	24	102	49	
	100.0	13.7	58.3	28.0	



クロス集計4 (職業×各設問)

集計 (25)

		1 計画知っているか			
上段：度数	合計	1年以上前	最近	知らなかつた	
下段：%					
合計	578	288	241	39	38
	100.0	51.6	41.7	8.7	1
職業					
第1次産業	17	8	7	1	1
	100.0	52.9	41.2	5.9	0
第2次産業	88	42	24	2	2
	100.0	61.8	35.3	2.9	0
第3次産業	233	112	102	19	19
	100.0	48.1	43.8	8.2	0
無職	117	64	43	10	10
	100.0	54.7	36.8	8.5	0
主婦	129	64	58	7	7
	100.0	49.6	45.0	5.4	0
学生	14	7	7	-	-
	100.0	50.0	50.0	-	-

集計 (26)

		2 場所知っているか		
上段：度数	合計	知っている	知らない	
下段：%				
合計	574	356	218	218
	100.0	62.0	38.0	0
職業				
第1次産業	17	8	9	9
	100.0	50.0	50.0	0
第2次産業	88	50	18	18
	100.0	73.9	26.5	0
第3次産業	233	136	96	96
	100.0	58.6	41.4	0
無職	117	70	47	47
	100.0	59.8	40.2	0
主婦	129	83	44	44
	100.0	65.4	34.6	0
学生	14	9	5	5
	100.0	64.3	35.7	0

集計 (27)

		3 何作るか知っているか		
上段：度数	合計	知っている	知らない	
下段：%				
合計	575	264	371	371
	100.0	35.5	64.5	0
職業				
第1次産業	17	8	11	11
	100.0	35.3	64.7	0
第2次産業	88	30	58	58
	100.0	44.1	55.9	0
第3次産業	231	79	152	152
	100.0	34.2	65.8	0
無職	118	37	79	79
	100.0	31.7	68.1	0
主婦	129	48	81	81
	100.0	37.2	62.8	0
学生	14	7	10	10
	100.0	28.6	71.4	0

集計 (28)

		4 改進黨業沖縄最大場所		
上段：度数	合計	知っている	知らない	
下段：%				
合計	577	381	216	216
	100.0	66.2	37.4	0
職業				
第1次産業	17	10	7	7
	100.0	58.8	41.2	0
第2次産業	88	44	24	24
	100.0	64.7	35.3	0
第3次産業	233	143	90	90
	100.0	61.4	38.6	0
無職	118	70	48	48
	100.0	60.3	39.7	0
主婦	129	83	46	46
	100.0	64.3	35.7	0
学生	14	11	3	3
	100.0	78.6	21.4	0

集計 (29)

		5 説明会あった知っているか		
上段：度数	合計	知っている	知らない	
下段：%				
合計	577	68	508	508
	100.0	12.0	88.0	0
職業				
第1次産業	17	3	14	14
	100.0	17.6	82.4	0
第2次産業	87	10	57	57
	100.0	14.9	85.1	0
第3次産業	233	23	210	210
	100.0	9.9	90.1	0
無職	117	16	101	101
	100.0	13.7	86.3	0
主婦	129	17	112	112
	100.0	13.2	86.8	0
学生	14	1	14	14
	100.0	-	100.0	0

集計 (30)

		6 沖縄市負担知っているか		
上段：度数	合計	知っている	知らない	
下段：%				
合計	577	98	479	479
	100.0	17.0	83.0	0
職業				
第1次産業	17	1	16	16
	100.0	5.9	94.1	0
第2次産業	88	13	55	55
	100.0	14.7	85.3	0
第3次産業	233	47	186	186
	100.0	20.2	79.8	0
無職	118	12	104	104
	100.0	10.3	89.7	0
主婦	129	24	105	105
	100.0	18.6	81.4	0
学生	14	1	13	13
	100.0	7.1	92.9	0

集計 (31)

		7 工砂倍増知っているか		
上段：度数	合計	知っている	知らない	
下段：%				
合計	575	81	484	484
	100.0	15.8	84.2	0
職業				
第1次産業	18	3	13	13
	100.0	18.8	81.3	0
第2次産業	88	18	49	49
	100.0	27.8	72.1	0
第3次産業	232	33	199	199
	100.0	14.2	85.8	0
無職	118	13	103	103
	100.0	11.2	88.8	0
主婦	129	23	106	106
	100.0	17.8	82.2	0
学生	14	1	14	14
	100.0	-	100.0	0

集計 (32)

		8 埋め立ての負担と思うか			
上段：度数	合計	思う	思わない	分からない	
下段：%					
合計	576	51	395	130	130
	100.0	8.9	68.6	22.5	0
職業					
第1次産業	18	2	15	2	2
	100.0	12.5	82.5	22.0	0
第2次産業	87	11	50	9	9
	100.0	18.4	74.9	9.0	0
第3次産業	233	17	173	43	43
	100.0	7.3	74.2	18.5	0
無職	117	10	86	41	41
	100.0	8.5	56.4	35.0	0
主婦	129	11	88	32	32
	100.0	8.5	68.2	24.6	0
学生	14	-	10	4	4
	100.0	-	71.4	28.6	0

泡瀬干潟の埋め立てに関する沖縄市民の意識調査

クロス集計5 (各設問×埋立ての必要性)

集計(33)

		8. 埋め立て必要だと思うか			
		合計	思う	思わ ない	分 から ない
1. 計画 知っている か？	合計	606	60	412	134
	上段：度数 下段：%	100.0	9.9	68.0	22.1
	1年以上前	316	51	212	53
	最近	249	9	174	68
	知らなかった	41	-	26	15
	100.0	-	63.4	36.6	

集計(34)

		8. 埋め立て必要だと思うか			
		合計	思う	思わ ない	分 から ない
2. 場所 知っている か？	合計	602	60	408	134
	上段：度数 下段：%	100.0	10.0	67.8	22.2
	知っている	375	58	265	57
	知らない	227	7	143	77
	100.0	3.1	63.0	33.9	

集計(35)

		8. 埋め立て必要だと思うか			
		合計	思う	思わ ない	分 から ない
3. 何作 るか 知っている か？	合計	602	59	409	134
	上段：度数 下段：%	100.0	9.8	67.9	22.3
	知っている	217	46	143	28
	知らない	385	13	266	106
	100.0	3.4	69.1	27.5	

集計(36)

		8. 埋め立て必要だと思うか			
		合計	思う	思わ ない	分 から ない
4. 渡島 飛来沖 縄農大 場所	合計	605	60	411	134
	上段：度数 下段：%	100.0	9.9	67.9	22.1
	知っている	382	36	294	52
	知らない	223	24	177	82
	100.0	10.8	52.5	36.8	

集計(37)

		8. 埋め立て必要だと思うか			
		合計	思う	思わ ない	分 から ない
5. 説明 会あつ た知っ ている か？	合計	605	60	412	133
	上段：度数 下段：%	100.0	9.9	68.1	22.0
	知っている	78	29	41	8
	知らない	527	31	371	125
	100.0	5.9	70.4	23.7	

集計(38)

		8. 埋め立て必要だと思うか			
		合計	思う	思わ ない	分 から ない
6. 沖縄 市負担 知っ ている か？	合計	605	59	412	134
	上段：度数 下段：%	100.0	9.8	68.1	22.1
	知っている	104	24	74	6
	知らない	501	35	338	128
	100.0	7.0	67.5	25.5	

集計(39)

		8. 埋め立て必要だと思うか			
		合計	思う	思わ ない	分 から ない
7. 土砂 捨て場 知っ ている か？	合計	603	59	412	132
	上段：度数 下段：%	100.0	9.8	68.3	21.9
	知っている	97	34	55	8
	知らない	506	25	357	124
	100.0	4.9	70.6	24.5	